

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年12月19日

計画の名称	伊豆市下水道施設防災対策事業（防災・安全）（第3期）													
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	伊豆市													
計画の目標	ストックマネジメント改築計画に基づき計画的な改築を進め、対象施設の長寿命化を図ることで効率的な安全・安心を確保する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,362	A	1,362	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R7当初)		(R11末)
1	ストックマネジメント改築実施計画に基づき、対象施設について長寿命化対策率を25.0%（R7）から100.0%（R11）に向上。 長寿命化対策率（%）＝（長寿命化対策施設数（箇所））／（対象施設数（箇所））			
		25%	50%	100%
2	ストックマネジメント改築実施計画に基づき、管路について点検調査実施率を5.0%（R7）から15.0%（R11）に向上。 管路点検調査実施率（%）＝（管路点検調査実施延長（km））／（管路総延長（km））			
		5%	10%	15%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	管渠（ 污水）	改築	東部処理区管渠整備（管 渠耐震化）	管渠耐震化 L＝0.4km	伊豆市	■	■	■	■	■	12		－
	A07-002	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	管渠（ 污水）	改築	伊豆市ストックマネジメ ント計画に基づく改築（ 長寿命化）	管路点検調査	伊豆市	■	■	■	■	■	150		策定済
	A07-003	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	ポンプ 場	改築	伊豆市ストックマネジメ ント計画に基づく改築（ 長寿命化）	改築（長寿命化）設計・工事	伊豆市	■	■	■	■	■	100		策定済
	A07-004	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	終末処 理場	改築	伊豆市ストックマネジメ ント計画に基づく改築（ 長寿命化）	改築（長寿命化）設計・工事	伊豆市	■	■	■	■	■	1,000		策定済
	A07-005	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	終末処 理場	改築	白岩浄化センター整備（ 耐震化）	改築（耐震化）設計・工事	伊豆市	■	■	■	■	■	100		策定済
											小計						1,362		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						1,362		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07	R08			
配分額 (a)	123	106			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	123	106			
前年度からの繰越額 (d)	0	35			
支払済額 (e)	88	0			
翌年度繰越額 (f)	35	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 伊豆市下水道施設防災対策事業（防災・安全）（第3期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○